

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 23 年 3 月 3 日 (2011.3.3)

【公開番号】特開 2010-226766 (P2010-226766A)

【公開日】平成 22 年 10 月 7 日 (2010.10.7)

【年通号数】公開・登録公報 2010-040

【出願番号】特願 2010-134745 (P2010-134745)

【国際特許分類】

H 0 4 N 7/173 (2011.01)

【F I】

H 0 4 N 7/173 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 23 年 1 月 19 日 (2011.1.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

送信機から送信され、コンテンツを形成する各々の M P E G - 2 T S パケットに、前記 M P E G - 2 T S パケットのエンコード時における M P E G システムクロックのカウント値をタイムスタンプとして付加したそれぞれが少なくとも 1 つ以上の拡張 T S パケットを含む複数のセグメント化されたデータから構成されるストリームにより形成されるコンテンツを受信し、再生し、再送する、コンテンツ受信器において、

前記コンテンツを蓄積する蓄積手段と、

M P E G システムクロックを再生するシステムクロック再生手段と、

前記システムクロック再生手段の出力する M P E G システムクロックを計数し計数値を算出する第 1 の計数手段と、

前記蓄積手段に蓄積された前記コンテンツを再生するデコーダと
を備え、

前記システムクロック再生手段は、前記デコーダから出力される P C R 信号と前記第 1 の計数手段の計数値とが等しくなるように M P E G システムクロックを再生し、

前記蓄積手段に蓄積された各々の前記拡張 T S パケットを、前記第 1 の計数手段の計数値と前記タイムスタンプが所定のオフセット値を有するときに前記デコーダへ出力し、

さらにストリームを出力するためのインターフェースとを備え、前記拡張 T S パケットから構成されるストリームを前記インターフェースを介して出力し、

さらに

前記複数のセグメント化されたデータには、セグメントの連続性を確認する為の値が付加され、

ているコンテンツ受信器。

【請求項 2】

受信した前記セグメント化されたデータを前記蓄積手段に蓄積する際に前記セグメントの連続性を確認する為の値に応じて個々の蓄積領域を管理する蓄積管理手段を備え

前記送信側から再送され受信する該当するセグメント化されたデータを前記セグメントの連続性を確認する為の値に応じて前記蓄積管理手段の管理する領域に蓄積する様に制御することで前記不連続を解消することを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ受信器。

【請求項 3】

前記コンテンツ受信器は、前記セグメント化されたデータにおけるセグメントの連続性を確認する為の値における不連続性を検出し、前記セグメントの連続性を確認する為の値の不連続性の方向を判定し、

前記判定された不連続性の方向に従って、前記セグメントの連続性を確認する為の値に関する情報を含むコマンドを送信側に送信する、請求項 2 記載のコンテンツ受信器。

【請求項 4】

前記セグメントの連続性を確認する為の値の連続性の確認において前記セグメントの連続性を確認する為の値の増加方向の不連続を検出した場合にセグメントの不連続を認識することを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ受信器。

【請求項 5】

前記拡張 T S パケット数は通信時のパケットにおけるデータ領域のデータサイズが通信網の M T U (M a x i m u m T r a n s m i s s i o n U n i t) を超えないように設定されることを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ受信器。

【請求項 6】

送信側から I P プロトコル網を介して I P パケットを受信し I P パケット内部に格納されているストリームを蓄積手段に蓄積する際の処理として、I P プロトコルにおける I P データグラムのデータ領域に格納されている前記拡張 T S パケットを抽出することを特徴とする請求項 1 記載のコンテンツ受信器。

【請求項 7】

前記拡張 M P E G - 2 T S パケットは、前記 M P E G - 2 T S パケットのエンコード時における M P E G システムクロックのカウント値を 4 バイトのタイムスタンプとして付加した拡張 T S パケットである請求項 1 記載のコンテンツ受信器。

【請求項 8】

前記拡張 T S が前記デコーダに送られる前に前記タイムスタンプが外されている請求項 1 記載のコンテンツ受信器。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0030】

本発明のコンテンツ受信機は、送信機から送信され、コンテンツを形成する各々の M P E G - 2 T S パケットに、前記 M P E G - 2 T S パケットのエンコード時における M P E G システムクロックのカウント値をタイムスタンプとして付加したそれぞれが少なくとも 1 つ以上の拡張 T S パケットを含む複数のセグメント化されたデータから構成されるストリームにより形成されるコンテンツを受信し、再生し、再送する、コンテンツ受信器において、前記コンテンツを蓄積する蓄積手段と、M P E G システムクロックを再生するシステムクロック再生手段と、前記システムクロック再生手段の出力する M P E G システムクロックを計数し計数値を算出する第 1 の計数手段と、前記蓄積手段に蓄積された前記コンテンツを再生するデコーダとを備え、前記システムクロック再生手段は、前記デコーダから出力される P C R 信号と前記第 1 の計数手段の計数値とが等しくなるように M P E G システムクロックを再生し、前記蓄積手段に蓄積された各々の前記拡張 T S パケットを、前記第 1 の計数手段の計数値と前記タイムスタンプが所定のオフセット値を有するときに前記デコーダへ出力し、さらにストリームを出力するためのインターフェースとを備え、前記拡張 T S パケットから構成されるストリームを前記インターフェースを介して出力し、さらに前記複数のセグメント化されたデータには、セグメントの連続性を確認する為の値が付加されていることを特徴とする。